

みみずく読書会

みみずく読書会は、平成3年に講師の岡本博幸先生が東部図書館（現若葉）に館長として赴任された年に始まるので、既に20年の歴史があります。まずは、一人の作家の一作品をじっくり読みその読後感を、講師のリードとアドバイスに従って、会員がフランクに話し合う楽しい集まりです。同じ作家が数年続く場合もあります。今まで読んだ作家の一部をランダムに挙げてみると、宮澤賢治、森鷗外、志賀直哉、三島由紀夫、谷崎潤一郎、井上靖、泉鏡花、遠藤周作、夏目漱石、太宰治、大江健三郎、魯迅、シェクスピア・・・現在はドストエフスキーの『罪と罰』を読んでいます。文庫本で5冊におよぶ長編です。

読むばかりではありません。作品の舞台に出かけます。賢治のイギリス海岸、太宰の『津軽』では津軽半島、三島の金閣寺（京都）、暁の寺（バンコク）、井上靖の敦煌、魯迅の北京、杭州・・・。読んだ作品の舞台を訪れることによって、私たちは五感で感じ、より一層作家と作品が身近になり理解と納得の上で心に残るのです。いかに楽しいサークルであるか？その出席率が限りなく100%に近いことが証明しています。

20年の歴史は会員も確実に加齢の影響を受けつつあります。理想は「晴耕雨読」。テレビを消して本を読みましょう。そして時には「ちいさな旅」を。

見学、入会、退会は随時です。

